

2023. 3. 4～5

谷川岳東尾根 山行報告書

記 柴田



計画書整理 No.

期 間：2023 年 3 月 4 日(土)～5 日(日)

種 別：合宿

参 加 者：河本さん、柴田

コースタイム：

3 月 4 日(土) 16:30 横須賀→22:00 谷川岳ロープウェイ

3 月 5 日(日) 3:40 谷川岳ロープウェイ→5:00 一ノ倉沢出合→7:00 シンセンの科尔

→11:30|第一岩壁→12:30 谷川岳山頂→14:00 ラクダの科尔→15:20 谷川ベースプラザ

記録

谷川ロープウェイ駐車場で前夜泊のうえ、3/5 に谷川岳東尾根に登攀した。

以下、詳細

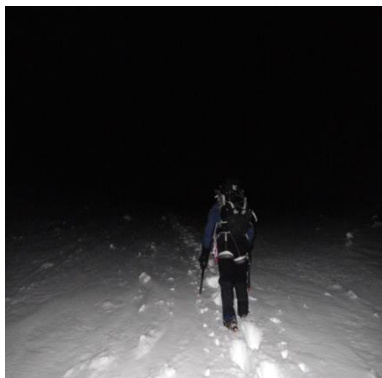
3 月 4 日(土) 曇り

16:00 に横須賀を出発し、22:00 頃ロープウェイ駐車場に到着した。土曜夜の環八はとても混んでいて、思いの外時間がかかってしまった。寝支度を整えて 23 時ごろ駐車場で車中泊をした。

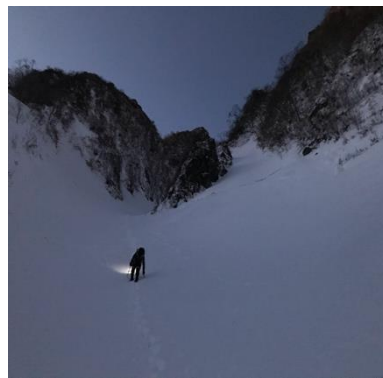
3月5日(日) 晴れ

2:30 に起床、準備をして 3:30 過ぎに駐車場を出発した。指導センターから一ノ倉出合までは既にトレースが着いており、斜面を若干上って林道に出た。その先は林道沿いに進んでいくが、時折急斜面と凍結箇所があるので注意が必要。一部日が当たるのか突風が吹いているのか林道の飛び出た箇所は雪のないところもあった。1 時間ほどで一ノ倉出合に到着し、ここでアイゼンを装着した。

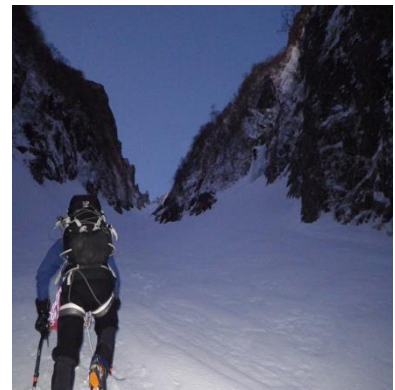
出合から先は一ノ倉尾根側にいくつかデブリがあって嫌な感じだったが、雪は締まっていて、自分達が行動中は大丈夫だと判断しそのまま進む事にした。本谷を詰めて中間稜が見えてくる辺りで一ノ沢に入っていた。急坂だと聞いていたので、出だしがそこまで傾斜もキツくなく合っているか心配だったが、GPS を確認するとど真ん中にいて一安心。単調なルンゼを 1 時間ほど詰めると右手に 2.3 段程(100m 弱くらい?)の氷瀑が見えてきて、1 パーティが取り付いていた。話を伺うと、滝を登ったあと中間稜を登り、東尾根を出るようだった。そこからまた 1 時間ほど(この辺りから傾斜がキツくなる)詰め切ると灌木が始めて(最上部はクラスト気味で嫌な感じだった)シンセンのコルに到着した。



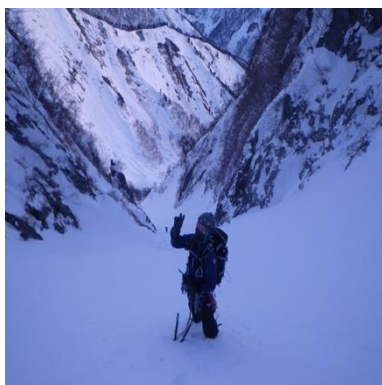
一ノ沢



一ノ沢



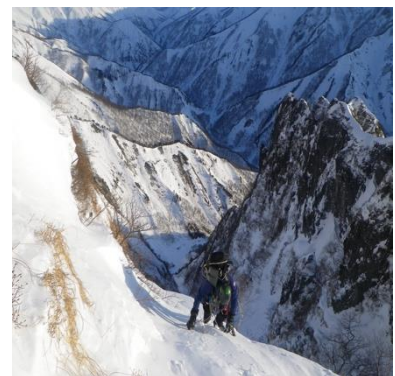
右手に氷瀑が見える



一ノ沢



シンセンのコル



シンセンのコル上から

シンセンのコルは意外と狭くて雪庇の様になっていた為、少し登って岩壁の前で一本立てた。そこから岩壁を左に巻いて雪面を登った。ここも意外と悪く傾斜も急かつ雪がフカフカでステップが作れない箇所もあり緊張感があつた。トラバースした後岩の脇を詰め灌木を越えてリッジに戻る頃には、雪もしまって歩き易くなった。ここまで先頭で歩いてきたが、後続のパーティに先頭を交代

した。そこから途中岩を越えたりしながら痩せた尾根を歩き、雪でチムニーのようになっていて急な草付き(雪で埋まっており現場では気がつきませんでした、ここが第二岩峰だった様です)を登ると顕著な雪稜に飛び出した。



雪面上の灌木帯



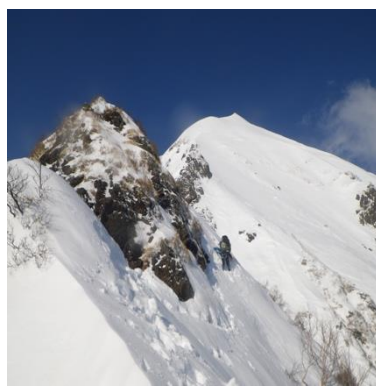
第二岩峰



第二岩峰手前のリッジ



第二岩峰上部



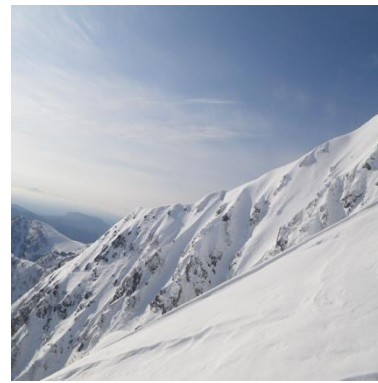
第二岩峰上から観倉平

数メートルの切れた雪壁を一箇所クライムダウンすると、観倉平までの急坂が始まった。トポによるとここも雪崩れる危険があるとの事だが、雪も豊富で急傾斜、一部雪庇がコル側へ張り出している箇所もあり、確かに崩落する可能性はありそうだった。急坂を登りきると傾斜も緩くなり、右手に一二の沢中間稜が見えて間もなく合流した。中間稜は上から見ると左右も切れていてアップダウンも多くとても難しそうに思えた。そこから左手前方を見ると第一岩峰が雪庇の奥に見え、その上にオキの耳も捉えられた。発達した雪庇が左側に張り出しているの、右側から登り詰めると今回ハイライトの雪庇のトラバースが始まった。出だしから最初の 50m ほどは勾配も緩く、トレースもあった為そこまで恐怖感もなく、写真を撮りながら楽しんで進む事ができた。程なく勾配が急になり始め、雪庇の裏手に回ると先行パーティの女性が一人で止まっていた。

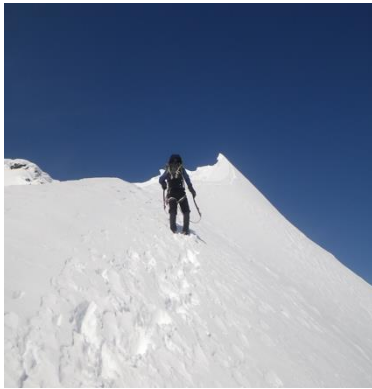
クライムダウン

観倉平前の急坂

西黒尾根



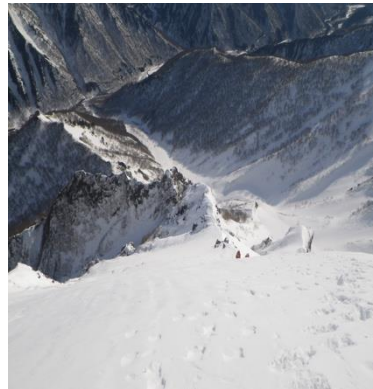
観倉平手前



トラバース出だし



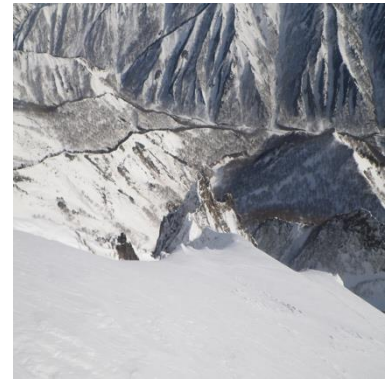
観倉平から振り返って



雪底のトラバース



一二の沢中間稜



話を伺うと、どうやら同パーティの男性一名がトラバース途中でクライムダウンをした際に足場が崩れてニノ沢方面へ滑落したとの事。滑落者は現場からは見えなかったが、声をかけると反応はあるようだ。話を聞いているうちに後続パーティも到着し始めて、とりあえず救助要請をする事になった。待機場所も不安定だったので、デッドマンで支点を作りザイルを出して第一岩峰手前の傾斜が緩くなった比較的安全な所までトラバースをする事にした。ここは滑落してもおかしくない程雪が安定しておらず、出だしの雪はフカフカで急勾配な為、足場が少しずつ崩れる感じだった。雪を踏み固めながら、丁寧に数メートルクライムダウンをしてトップロープになった状態でトラバースを開始した。雪が盛り上がって歩きづらい為、手と足を思いっきり叩き込んでスタンスを作った。2. 30m 程進んだ比較的安定した箇所にてデッドマンを埋めて、アックスで補強しつつ支点を作りフィックスロープを張った。後続がフィックスで通過するのを待っていると、滑落した男性が下に見えた様で、どうやら登り返している様だ。後続パーティ(JECC・横浜蝸牛山岳会)の方々が下へザイルを垂らして滑落者の

方のアシストをしてくださっていた。(後続も詰まっていたので、ここから我々は先に行かせて頂いた。)



急勾配のトラバース



第一岩峰から振り返って

第一岩峰手前も大きなクレストがあって、気が抜けなかった。第一岩峰取付に着くと、ここで渋滞が発生してしまい、我々是他パーティと共同で右側から巻いてルンゼを詰める事とした。(ここで横浜蝸牛山岳会の方より 50m ロープを拝借させて頂きました。この場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました)ここも出だしのトラバースがとても立っていて先が見えず、不安感があったが、数メートルのトラバースを終えてルンゼに入ると傾斜はキツイが雪に埋まれる感じだったのでそこまで恐怖感もなく登ることが出来た。50m ロープ一杯で大きな岩の下に着き、そこでピッチを切った。



第一岩峰



巻いた先の岩から

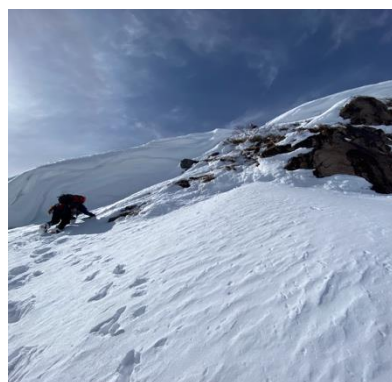
ここもフィックスロープを張って、後続のパーティと共に上まで上がった。そこから 100m 程頂上まで急傾斜のキツイ登りだったが、頂上が真上に見えており、頂上から東尾根を覗いている人達の姿も見えて天気も良いので、気持ち良くて一気に駆け上がった。頂上直下は一部階段状になっている箇所があり、先行者のトレースもあったので、そこを利用した。少し岩が露出しており、雪も若干シャーベット状だったが、ザイルを出す程の危険度ではなかったので、一気に登ってしまった。最後の雪壁を乗越すとオキノ耳に飛び出して、眼前に国境稜線の向こう側の景色が広がった。一般の登山者も多くいて、なんだか一安心した。頂上でパートナーの河本さんや行動を共にしたパーティの方々を待って握手を交わし、記念撮影をして下山を開始した。



最後の急坂



東尾根を振り返って



頂上手前



頂上直下



東尾根の終了点



皆様と記念撮影

下山はロープウェイの誘惑に駆られつつも当初計画通りに西黒尾根を降る事にした。途中ザンゲ岩の辺りからは東尾根の様子もよく見えて、まだ登攀中のパーティの姿も確認できた。1 時間と少しでラクダのコルに到着し、樹林帯を抜けて 15 : 30 にはベースプラザに到着し、帰路についた。



西黒尾根から東尾根

感想

今回は入会当初から憧れのあった谷川岳東尾根に登攀してきました。2 年前から計画を立てておりましたが、天候や雪の状態もあり中々実行に移せておりませんでした。数日前に積雪があったものの、当日は晴天無風で、気温もそれほど上がらない予報でしたので、計画を実行する事ができました。一週間前の情報から積雪も多く苦戦すると予想しておりましたが、行ってみるとそこまで積雪もなく何より天気が良くて快適に登攀が出来たように思います。

ルートの内容については、今回気付かぬうちに第二岩峰を通過していた様で、第一岩峰も巻いてしまった為、ザイルを出したのは雪庇のトラバースと第一岩峰の巻道のみでした。所々雪が軽く手掛かりや足場が安定しない箇所もあって緊張する場面もありました。本当に天候や雪の状態で難易度や危険度が変わってくるルート(一ノ倉全体に言える事なのかも知れませんが)だと感じました。

そして今回は他パーティのアクシデントもあって改めて我々の今後について考えさせられました。事故報告書も拝見し、危機管理やパーティ内装備、ザイルを出す等の状況判断、基本動作の重要性など今後登攀を続けていく上で、安全に山行する為に重要な事を再確認する機会となりました。有事の際にどう動くかも他パーティの方々の動きを見て大変勉強になりました。

また上記の事もあり、半ば共同で登攀をする形となりまして、装備等色々とお世話になりました JECC・横浜蝸牛山岳会の方々に心より感謝申し上げます。またいつか山や別の場所でご一緒させて頂く機会もあると思いますので、またお会いした際にはどうぞ宜しくお願い申し上げます！

最後に、改めて素敵な山行を共にしていただいた河本リーダーに感謝申し上げます。(念願の東尾根を最高のコンディションと一緒に登る事ができ、感無量です、、！また冬季の一ノ倉沢へ一緒にチャレンジ出来ればと思います！)

・・・今回下山後は、水上 IC 近くの湯テルメ・谷川さんで入浴後、沼田駅近くの谷川の Pasta エルベさんで夕食を頂きました。普通盛りでも茹で前 330g と大盛りで、たっぷりかかったミートソースのスパゲティがとても美味しかったです。

